日本赤十字九州国際看護大学/Japanese Red Cross Kyushu International College of Nursing

research achievements (2019 January-December)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2020-03-31 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 日本赤十字九州国際看護大学 メールアドレス: 所属:
URL	https://jrckicn.repo.nii.ac.jp/records/708

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.

＜リベラルアーツ・専門基礎＞

教授　鈴木　清史

【著書】
鈴木清史：オーストラリア先住民アボリジニの装い－伝統と近代の織りなしかた．山田孝子，小磯千尋編：文化が織りなす世界の装い．京都，英明企画編集，123-134，2019.

【論文】
鈴木清史：オーストラリア･アボリジニと職業としての看護師－同化から文化的(カルチュラル)安全(セイフティ)の資格へ－．アジア研究，(14)：37-49，2019.

【社会活動】
論文査読　International Society of Simulation and Gaming(2018-2019)

【競争的外部資金】
科学研究費：（研究代表者）
2016-19　自己啓発型ヘルス・コミュニケーションツールの開発と評価［課題番号：１６K01298］

教授　守山　正樹

【論文】
守山正樹:人と社会に関するいくつかの概念を手で触覚的に学ぶ方法の開発. 感性と対話, 2(1): 7-23, 2019. http://id.nii.ac.jp/1127/00000569/（参照 2019-12-24）.

守山正樹：衝動や葛藤を意識化し,健康や社会を再考し続ける試み．日本健康学会誌, 85 (5): 155-156, 2019. https://doi.org/10.3861/kenko.85.5_155（参照 2019-12-25）.

【学会発表】
守山正樹：指先の触覚から欲求･衝動を意識化し,振返り,働きかける試み．第 35 回日本精神衛生学会，別府，2019 年 12 月 8 日.

守山正樹:指先の触覚･触知から衝動を意識化し,自己と社会を学ぶ試み．第 84 回日本健康学会，長崎, 2019 年 11 月 2 日.

守山正樹：指先の触覚から記憶を振り返り自分の存在を問い直す方法の開発．第 9 回日本認知症予防学会，名古屋, 2019 年 10 月 19 日.

守山正樹：触覚を用いた健康教育の理論学習の試み．第 28 回日本健康教育学会，東京, 2019 年 6 月 29 日.

教授　柳井　圭子

【著書】
柳井圭子：6 イギリスにおける医療情報の保護と利用：患者情報の守秘と開示の調整．甲斐克則編：医療情報と医事法．東京，信山社，117-140，2019.

【学会発表】
柳井圭子，Herrera, C, Lourdes, R.，森中惠子：イギリスにおけるフォレンジック看護発展の要因．第 6 回日本フォレンジック看護学会，東京，2019 年 8 月.

柳井圭子：看護における法医学教育の必要性．第 12 回日本看護倫理学会，大阪，2019 年 6 月.

【競争的外部資金】
2017-19 年度　フォレンジック看護学の実践哲学の体系化に関する研究　［JSPS 科研費 JP17K12106］（研究分担者）
【社会活動】

第 6 回日本フォレンジック看護学会学術集会．座長 2019 年 9 月．

助教　木村　涼平

2019-2023 年度　科学研究費補助金　基盤研究(C)
妊娠期の交代制勤務看護職の睡眠健康プログラムの開発　研究分担者（研究代表者：大重育美）

独立行政法人国立病院機構九州医療センター　客員臨床研究員（2018 年～）

＜看護の基盤＞

教授　本田　多美枝

【論文】
小手川良江，本田多美枝：中堅看護師が職務継続の危機を乗り越えるプロセス．日本赤十字看護学会誌 19(1)：37-48，2019.

【学会発表等】
本田多美枝，福田美和子，高堂香菜子：地域中核病院に勤務する看護管理者の「省察的実践」の現状と課題．第 39 回日本看護科学学会学術集会，金沢，2019 年 11 月 30 日．

福田美和子，本田多美枝，岡部春香，明神哲也，坂本なほ子：リフレクティブな対話を促進するグループリフレクションにおけるファシリテートの要素．第 29 回日本看護学教育学会学術集会，京都，2019 年 8 月 4 日．

日本看護学教育学会理事会企画（編集委員会）：テーマセッション「はじめての投稿論文-私の修士論文の投稿体験から」第 29 回日本看護学教育学会学術集会，京都，2019 年 8 月 3 日．

【科学研究費助成金獲得】
本田多美枝（研究代表者）：省察-実践-共同思考を中核とした学習する組織創出型看護管理者支援プログラムの開発．平成 30～32 年度科学研究費補助金基盤研究（C）

福田美和子（研究代表）：リフレクティブコミュニティを基盤としたクリティカルケア看護実践支援モデルの開発．平成 30～33 年度度基盤研究（C）　研究分担者

小手川良江（研究代表）：中堅看護師のレジリエンスを引き出す支援モデルの構築．平成 30～33 年度基盤研究（C）　研究分担者

【研究報告書】
本田多美枝（研究代表者）：省察-実践-共同思考を中核とした学習する組織創出型看護管理者支援プログラムの開発．平成 30～32 年度科学研究費補助金基盤研究（C），平成 30 年度実績報告書．

【特別講演】
2019 年 12 月 14 日　第 19 回福岡県看護学会　特別講演
「今こそ生きる看護のちから～ケアすることの本質と魅力～」

【現任教育】
中部ブロック赤十字医療施設看護係長研修　講師（2010 年 9 月ー現在に至る）
福岡赤十字病院実地指導者研修　講師（2003 年ー現在に至る）
沖縄赤十字病院リフレクション研修（2019 年 7 月）
国立病院機構　佐賀病院（佐賀県内 4 施設）看護管理者対象リフレクション研修（2019 年 1 月）

【社会活動】
日本看護学教育学会　編集委員会委員（2018－現在に至る）

日本赤十字看護学会　専任査読委員（2004 年－2012 年、2018 年－現在に至る）

[看護協会]
福岡県看護協会　認定看護管理者セカンドレベル　人材管理 II（人材を育てるマネジメント）講師（2009 年－現在に至る）
福岡県看護協会　新人看護職員研修　研修責任者研修　講師（2019 年一現在に至る）
熊本県看護協会　新人看護職員研修　研修責任者研修　講師（2010 年－現在に至る）
熊本県看護協会　新人看護職員研修 教育担当者研修　講師（2011 年－現在に至る）
熊本県看護協会　新人看護職員研修　実地指導研修　講師（2011 年－現在に至る）
山口県看護協会　新人看護職員研修　研修責任者研修　講師（2018 年－現在に至る）

教授　倉岡　有美子

【著書】
倉岡有美子：看護師長して成長し続ける！経験学習ガイドブック，医学書院，2019.

【論文】
藤谷育巳，小板橋彩，倉岡有美子，鈴木研裕，嶋田元，竹川英子，岸田明博：質の高いパスを目指そう!　クリニカルインディケーター活用のノウハウ　バイタルサイン測定回数を適正化したことでケアは充実できたか　クリニカルパスデータを統計分析して看護ケアの充実を目指す．日本クリニカルパス学会，21(３)：151-154，2019.

Kuraoka Y：The Relationship between Experiential Learning and Nursing Management Competency. *Journal of Nursing Administration*，49(2): 99-104, 2019.

（解説）
倉岡 有美子：【高齢者の胃瘻とケア】高齢者の胃瘻造設に関する意思決定支援．臨床老年看護，26(3)：11-18，2019.

【学会発表】
倉岡有美子：管理研修を実践につなげるための挑戦一看護師長，研修実施者，上司の三位一体改革一（パネルディスカッション２：看護管理者研修を管理実践につなげるための最適解を探る）．第 23 回日本看護管理学会学術集会，新潟，2019 年 8 月．

倉岡有美子：看護師長の経験学習ノートの記述内容に対して上司が行ったフィードバックの内容．第 23 回日本看護管理学会学術集会，新潟，2019 年 8 月．

【研究活動（競争的研究資金の獲得）】
科学研究費補助金（基盤研究（C）　2019 年 4 月～2022 年 3 月
研究課題：看護師長を対象とするマネジメント理論と経験を結びつける学習プログラムの開発と評価
助成金：4,290,000 円
研究代表者：倉岡有美子

【社会活動】
日本看護科学学会（2019 年-2021 年　和文誌専任査読委員）
福岡県宗像・遠賀保健所結核の診査に関する専門部会委員（2019 年-現在）

福岡県看護協会　認定看護管理者ファーストレベルプログラム 講師：「組織管理論Ⅰ」(2019 年-現在)
福岡県看護協会　認定看護管理者サードレベルプログラム 講師：「組織管理論Ⅲ」「人材管理Ⅲ」(2019 年-現在)

以下の施設にて看護管理研修
国家公務員共済組合連合会浜の町病院(2019 年)，赤十字病院九州ブロック看護部長会(2019 年)，今津赤十字病院（2019 年），香椎丘リハビリテーション病院(カマチグループ)(2019 年)，秋田大学(非常勤講師：

2019 年)、国立病院機構九州医療センター（2019 年），石川県看護協会（2019 年），和歌山県看護協会(2019 年)

【国際活動】
JICA「地域保健向上のための保健人材強化」コース　講師「日本の医療制度と医療機関」(2018 年-現在)

准教授　阿部　オリエ
【国際活動】
2019 年 2 月 26 日：2018 年度 JICA 課題別研修「地域保健向上のための保健人材強化」研修プロジェクトにて「日本の看護人材育成/確保について」講義

講師　小手川　良江
【論文】
小手川良江，本田多美枝：中堅看護師が職務継続の危機を乗り越えるプロセス．日本赤十字看護学会誌，19(1)：1-12，2019.

【学会発表】
小手川良江：日本における看護師のレジリエンスの概念分析．第 39 回日本看護科学学会学術集会（石川），2019 年 11 月.

【競争的外部資金】
2018-21 年度　中堅看護師のレジリエンスを引き出す支援モデルの構築　[JSPS 科研費 JP18K10265]

助教　高堂　香菜子
【学会発表】
本田多美枝，福田美和子，高堂香菜子：地域中核病院に勤務する看護管理者の「省察的実践」の現状と課題．第 39 回日本看護科学学会学術集会，金沢，2019 年 11 月.

助手　福本　優子
【国際活動】
2019 年度 本学主催国際フォーラム担当

＜成育看護＞

教授　大重　育美
【著書】
永松美雪，大重育美，石山さゆり，中村美佳，園田希，原健一：高校生・大学生における暴力の加害者・被害者を予防する 10 代の若者向け映像教材の開発．第 38 回日本思春期学会総会･学術集会，2019.

【論文】
大重育美，塩水絹子，坪井幸代，相田由紀：看護師長の経験年数別によるコンピテンシーの比較．日本看護管理学会誌，23(1)：177-185，2019.

大重育美，東優里子，松中枝理子，後藤智子，石山さゆり，永松美雪：看護学生の睡眠の質と蓄積的疲労徴候との関係．学校保健研究，61(4)：212-217，2019.

大重育美，菅原直子，黒田裕美，有安直貴，清末定美，福島綾子，苑田裕樹，山本幸治，姫野稔子，髙橋清美, 田村やよひ：災害看護研修に対する医療施設のニーズ調査. 日本赤十字看護学会誌, 19(1)：31-36, 2019.

永松美雪監修，大重育美，石山さゆり，中村美佳，園田希，加部彩香，下鶴菜保，貞清翔子，森明日香，石橋恵子：e ラーニング「あなたとわたしにひそむ危険と対等な楽しい関係」(科学研究費助成事業)．日本赤

十字九州国際成育看護学制作，2019.

教授　永松　美雪

【著書】
永松美雪監修，大重育美，石山さゆり，中村美佳，園田希，加部彩香，下鶴菜保，貞清翔子，森明日香，石橋恵子：e ラーニング「あなたとわたしにひそむ危険と対等な楽しい関係」（科学研究費助成事業）日本赤十字九州国際成育看護学制作，2019．https://www.jrckicn.ac.jp/e-learning/

【論文】
Nagamatsu M, Hara K, Yano K, Takasaki M, Outa K：Web-based education for preventing sexual violence among junior high school students in Japan. *School Health*, 34-42, 2019.

大重育美，東優里子，松中枝理子，後藤智子，石山さゆり，永松美雪：看護学生の睡眠の質と蓄積的疲労徴候との関係．学校保健研究，61(4)：212-217，2019.

川崎寿磨子，森本眞寿代，中村美佳，永松美雪：初産婦の産後 1 か月の育児肯定感に影響を及ぼす要因―妊娠期の自己管理及び産後うつとの関連―．日本母性衛生学会雑誌, 59(4)：672-680，2019.

【学会発表等】
永松美雪，大重育美，石山さゆり，中村美佳，園田希，原健一：高校生・大学生にける暴力の加害者・被害者を予防する 10 代の若者向け映像教材の開発．第 38 回日本思春期学会総会･学術集会，東京，2019 年.

中村美佳，石山さゆり，園田希，永松美雪：暴力の加害者・被害者を予防する 10 代の若者向け映像教材を使用した教育効果，第 33 回日本助産学会総会･学術集会，福岡，2019 年.

【表彰】
第 38 回日本思春期学会総会･学術集会，優秀演題賞受賞，2019 年.
福岡県母子保健・家族計画大会，福岡県家族計画協会会長賞受賞，2019 年.

【社会活動】
福岡県性犯罪防止ネットワーク研修会講師「性暴力の加害者・被害者を予防する教育」2019 年

日本赤十字九州国際看護大学紀要編集長　2017 年～2019 年
第 33 回日本助産学会学術集会プログラム企画委員会委員　専任査読委員　2017 年～2019 年
宗像市子育てセンター協賛　くるくるユース　育児相談　2016 年～2019 年

【国際活動】
2019 年 JICA「保健人材開発―地方村落における地域保健」 コースにて “Midwifery education in Japan” 講義

准教授　石山　さゆり

【著書】
永松美雪監修，大重育美，石山さゆり，中村美佳，園田希，加部彩香，下鶴菜保，貞清翔子，森明日香，石橋恵子：e ラーニング「あなたとわたしにひそむ危険と対等な楽しい関係」（科学研究費助成事業）．日本赤十字九州国際成育看護学制作，2019.

【論文】
大重育美，東優里子，松中枝理子，後藤智子，石山さゆり，永松美雪：看護学生の睡眠の質と蓄積的疲労徴候との関係．学校保健研究，61(4)：212-217，2019.

【学会発表等】
永松美雪，大重育美，石山さゆり，中村美佳，園田希，原健一：高校生・大学生における暴力の加害者・被害者を予防する 10 代の若者向け映像教材の開発．第 38 回日本思春期学会総会･学術集会，東京，2019.

【社会活動】
福岡県看護協会　副会長（令和元年～現在に至る）
福岡県看護協会　常任理事（令和元年～現在に至る）
福岡母性衛生学会　副会長（令和元年～現在に至る）
福岡県看護政策懇話会委員（令和元年～現在に至る）
福岡県要保護児童対策地域協議会委員（令和元年～現在に至る）
福岡県性暴力対策検討会議委員（令和元年～現在に至る）
福岡県医療団体協議会理事（令和元年～現在に至る）
ふくおか出会い・子育て応援協議会委員（令和元年～現在に至る）
宗像市男女共同参画推進懇談会　会長（H28－現在に至る）
福岡県看護協会社会経済福祉委員会委員（H28-令和元年 ）
宗像市防災会議委員（H27－現在に至る）
福岡教育大学（非常勤講師）（H27－現在に至る）

助教　園田　希

【著書】
永松美雪監修，大重育美，石山さゆり，中村美佳，園田希，加部彩香，下鶴菜保，貞清翔子，森明日香，石橋慶子：e ラーニング「あなたとわたしにひそむ危険と対等な楽しい関係」（科学研究費助成事業）日本赤十字九州国際成育看護学制作，2019.

【学会発表】
永松美雪，大重育美，石山さゆり，中村美佳，園田希，原健一：高校生・大学生にける暴力の加害者・被害者を予防する 10 代の若者向け映像教材の開発，第 38 回日本思春期学会総会･学術集会，東京，2019 年.

園田希，小川真世，堀内成子：初産婦が乳児とふれ合う体験”Mama’s Touch プログラム”に協力した乳児の母親の声. 第 33 回日本助産学会，福岡，2019 年 3 月.

中村美佳，石山さゆり，園田希，永松美雪：暴力の加害者・被害者を予防する 10 代の若者向け映像教材を使用した教育効果. 第 33 回日本助産学会，福岡，2019 年 3 月.

【研究助成】
科学研究費助成金　若手研究　2019 年 4 月～2022 年 3 月
研究課題：胎児への愛着を促進する「Mama’s Touch プログラム」の効果検証
助成金：4160000 円
研究代表者：園田希

科学研究費助成金　基盤研究 C　2017 年度～2019 年度（研究分担者）
研究課題：暴力の加害者・被害者を予防する 10 代若手向け e ラーニングと DVD 映像教材の開発
研究代表者：永松美雪

【社会活動】
2018 年～宗像市子育て支援センター「ふらこっこ」ミニ相談会での助産師活動

助教　中村　美佳

【論文】
川崎寿磨子，森本眞寿代，中村美佳，永松美雪：初産婦の産後 1 か月の育児肯定感に影響を及ぼす要因―妊娠期の自己管理及び産後うつとの関連―. 日本母性衛生学会雑誌, 59(4)：672-680，2019.

中村美佳，河野史: 新生仔期の養育母タイプの違いが脳内 corticotropin-releasing factor ニューロンの分布に及ぼす影響. 第 124 回日本解剖学会全国学術集会，新潟，2019 年 3 月.

中村美佳，石山さゆり，園田希，永松美雪: 暴力の加害者・被害者を予防する 10 代の若者向け映像教材を

使用した教育効果. 第 33 回日本助産学会学術集会.福岡，2019 年 3 月.

【社会活動】
独立行政法人国立病院機構佐賀病院研修講師（2018－）

助教　松中　枝理子

【論文】
松中枝理子，藤原千恵子，熊谷由加里，高野幸子，池美保，古郷幹彦：思春期の口唇裂・口蓋裂患者が手術への意思決定を行う際の親の経験. 日本口蓋裂学会雑誌, 44(3): 164-174, 2019.

大重育美，東優里子，松中枝理子，後藤智子，石山さゆり，永松美雪: 看護学生の睡眠の質と蓄積的疲労徴候との関係. 学校保健研究, 61(4): 212-217, 2019.

Matsunaka E, Ueki S, Makimoto K: Impact of breastfeeding and/or bottle-feeding on surgical wound dehiscence after cleft lip repair in infants: A systematic review. *Journal of Cranio-Maxillofacial Surgery*, 47(4): 570-577, 2019.

松中枝理子，藤原千恵子，熊谷由加里，高野幸子，池美保：思春期の口唇裂・口蓋裂患者の手術への意思決定に影響する要因. 第 49 回日本看護学会論文集 急性期看護，49: 107-110，2019.

大重育美，松中枝理子，島崎梓，後藤智子，石山さゆり，苑田裕樹: 臨地実習期間における看護大学生の睡眠障害に関する研究. 第 49 回日本看護学会論文集 看護教育，49: 7-10，2019.

Ueki S, Fujita Y, Kitao M, Kumagai Y, Ike M, Niinomi K, Matsunaka E, Fujiwara C: Resilience and difficulties of parents of children with a cleft lip and palate. *Japan journal of nursing science*, 16(2): 232-237, 2019.

【学会発表】
植木慎悟，山川みやえ，山上優紀，松中枝理子，的場圭，山田絵里，渡邊浩子：EBP を臨床に浸透させる戦略 -臨床と学術機関のコラボレーションシステムの提案-. 第 39 回日本看護科学学会学術集会，交流集会，石川，2019.

松中枝理子，藤原千恵子: 思春期の口唇裂・口蓋裂患者を育てる親の手術への意思決定に影響する要因. 第 66 回日本小児保健協会学術集会，示説発表，東京，2019.

松中枝理子，藤原千恵子，熊谷由加里：思春期の口唇裂・口蓋裂患者が手術への意思決定を行う際の親の経験 -親の関わりに焦点を当てて-. 日本小児看護学会第 29 回学術集会，示説発表，北海道，2019.

【社会活動】
2019 年 8 月　第 20 回九州・沖縄小児看護教育研究会　当番校

助手　東　優里子

【論文】
大重育美，東優里子，松中枝理子，後藤智子，石山さゆり，永松美雪：看護学生の睡眠の質と蓄積的疲労徴候との関係. 学校保健研究，61(4)：212-217，2019.

【学会発表】
東優里子：新卒小児看護師が勤務継続の原動力を獲得していく体験の様相. 第 29 回日本小児看護学会，北海道，2019.

【社会活動】
2019 年 8 月　第 20 回九州・沖縄小児看護教育研究会　当番校

助手　橋本　真貴子

【国際活動】
2019 年度 JICA「保健人材強化」研修アテンド

＜老年・慢性看護＞

教授　中村　光江

【著書】
中村光江：慢性疾患患者に対する災害看護．浦田喜久子編．系統看護学講座　看護の統合と実践③　災害看護学・国際看護学．161-164，東京，医学書院，2019.

【論文】
山本孝治，中村光江：青年期以前に発症した中年期クローン病患者の生活の再構築．日本看護研究学会誌，42(1)：17-29，2019.

【学会発表】
守田美奈子，本庄恵子，吉田みつ子，田中孝美，樋口佳栄，殿城友紀，住谷ゆかり，酒井千恵，中村光江，田中晶子：慢性疾患患者・家族への ACP を促進するためのガイドブックの検討　腎不全、心不全、呼吸不全患者への ACP 実践のため．第 39 回日本看護科学学会学術集会（示説），金沢市，2019.

守田美奈子，本庄恵子，吉田みつ子，田中孝美，樋口佳栄，殿城友紀，住谷ゆかり，酒井千恵，中村光江，田中晶子：慢性疾患をもつ人々への多職種で実践する日本型アドバンスケアプランニングモデルの検討．第 39 回日本看護科学学会学術集会（示説），金沢市，2019.

田中孝美，吉田みつ子，守田美奈子，本庄恵子，樋口佳栄，殿城友紀，酒井千恵，中村光江，田中晶子，住谷ゆかり：慢性病者のアドバンス・ケア・プラニングを多職種で実践することへの医療者の認識　全国質問紙調査の質的分析結果からの報告(その 1)．第 20 回日本赤十字看護学会学術集会(示説), 東京都, 2019.

吉田みつ子，田中孝美，守田美奈子，本庄恵子，樋口佳栄，殿城友紀，酒井千恵，中村光江，田中晶子，住谷ゆかり：アドバンス・ケア・プラニングの実践で看護師が慢性病者・家族と関わるうえでの困難　全国質問紙調査の質的分析結果からの報告(その 2)．第 20 回日本赤十字看護学会学術集会(示説)，東京都，2019.

【社会活動】
2019 年 11 月　AP 事業北九州合同セミナー（北九州市）講師
「『学士課程教育』と『看護現場での現任教育』のシームレスな接続を目指して」

2019 年 1 月　福岡県看護協会 1 地区支部研修会（福岡市）講師
「事例を通して看護倫理を学ぶ」

【本学　公開講座】
2019　「エンド・オブ・ライフ」について考えましょう～あなたの人生を実りあるものに～

【研究支援】
2016 年－ 福岡赤十字病院看護研究支援（継続中）

【専任査読者】
2017 年－　日本赤十字看護学会　専任査読者　和文・英文（継続中）
2016 年－　日本慢性看護学会　専任査読者（継続中）
2016 年－　Reviewer of the Japan Journal of Nursing Science（継続中）
2015 年－　日本腎不全看護学会　専任査読者（継続中）

【地域】

2017- 福岡県宗像・遠賀保健所運営協議会委員 （継続中）
2016- 福岡県宗像・遠賀保健所結核の診査に関する専門部会委員（継続中）

【その他委員】
2017- 大学基準協会 大学評価分科会委員（継続中）

教授 姫野 稔子

【著書】
姫野稔子：高齢者に対する災害看護．系統看護学講座 災害看護学・国際看護学（第 4 版），東京，医学書院，151 - 155，2019

【論文】
大重育美，菅原直子，黒田裕美，有安直貴，清末定美，福島綾子，苑田裕樹，山本孝治，姫野稔子，高橋清美，田村やよひ：災害看護研修に対する医療施設のニーズ調査．日本赤十字看護学会誌，19(1)：31-36，2019.

【競争的外部資金】
平成 31 年度～令和 3 年度 科学研究費補助金 基盤研究 C
虚弱高齢者に対する口腔ケアモデルの作成
研究代表者：酒井久美子
研究分担者：姫野稔子
助成金額：2,860,000 円

【社会活動】
宗像市介護保険運営協議会委員（2019～）
岡垣町国民健康保険運営協議会委員（2019～）

准教授 原田 紀美枝

【社会活動】
日本赤十字九州国際看護大学 看護継続教育センター研修「認知症の症状の理解とコミュニケーションのコツ」2019.

宗像市・福津市介護認定審査委員(2015~2019)

講師 西尾 美登里

【著書】
看護者に期待されるものシリーズ第 1 巻 言葉の持つ力．135-138，ふくろう出版，2019.
西尾美登里：ケアメンたろう．日本看護協会出版会，看護と教養 看護と哲学, Online , 2019～2020.
西尾美登里：愛すべきケアメン．西日本新聞 くらし, 2019 年 4 月～11 月.
施設看取りのあれこれ 改訂版．公益社団法人福岡県看護協会，職能 II，2019.

【論文】
木村裕美，西尾美登里，久木原博子，古賀佳代子，井上ゆり子：地域で生活する虚弱高齢者の生きがい感の実態と影響する要因．日本健康支援学会，21(1)：39-44，2019.
古賀佳代子，木村裕美，檜垣靖樹，西尾美登里，久木原博子，池田智，井上ゆりこ：熊本地震 6 カ月後における就労者の睡眠と主観的健康感との関連要因．日本健康支援学会，21(1)：35-51，2019.

緒方久美子，西尾美登里，坂梨左織，古賀佳代子：地域高齢者の生活習慣、栄養とサルコペニアに関する実態調査．バイオメディカル・ファジィ・システム学会誌，21(1)：1-6，2019.

Nishio M, Ogata K, Sakanashi S : Characteristics of male caregivers who provide skin care to a mother or wife with dementia. *Asian Journal of Human Services*, 17: 1-10, 2019.

Kimura H, Nishio M, Kukihara H, Koga K, Inoue Y: The role of caregiver burden in the familial functioning, social support, and quality of family life of family caregivers of elders with dementia. *Journal of Rural Medicine*, 14(2): 156-164, 2019.

西尾美登里，坂梨左織，木村裕美：在宅で認知症者を介護する男性の情緒的疲弊．日本認知症ケア学会，18(2)：524-529，2019.

【報告書】
西尾美登里，木村裕美，久木原博子，緒方久美子：家族介護者のための口腔ミラー開発における基盤的研究 -男性介護者が実施する母・妻への口腔ケアの実態- ．福岡大学研究部論集　F：推奨研究編 平成 29～30 年度　福岡大学推奨研究プロジェクト 助成金報告書，7：32-36，2019.

西尾美登里，朔啓二郎，木村裕美，緒方久美子，坂梨左織，古賀佳代子：高齢者へのウォーキングによる健康ポイント付与効果と栄養に関する研究．福岡大学研究チーム報告【生命科学研究部】，2019.

【社会活動】

[招待講演]
山口県看護協会　ワークライフバランス講師 2009 年 11 月
日本看護連盟　研修会自分自身に看護計画を 2010 年 5 月
「国際共同臨床研究について考える」第 2 回治験活性化のための中国地区連絡協議会 広島大学、岡山大学、山口大学　　2010 年 11 月
ケアメンの未病について考える　17 回未病臨床検査セミナー 2018 年 11 月
男性護者九州ブロック　西日本新聞連載におけるケアメン支援 2019 年 3 月
男が誰かを介護する日 宗像市男女共同参画事業 2019 年 11 月

【国際学会】
Sakanashi S, Nishio M, Ogata K, Koga K: Association between Social Capital of the Elderly and Oral Hygiene Condition, Habit, and Self-Efficacy. WONCA Asia Pacific Regional Conference 2019. 2019 年 5 月(京都)

Nishio M, Sayori S, Ogata k, Koga K : Request for help from male caregivers of a wife or mother with dementia. WONCA Asia Pacific Regional Conference 2019. 京都，2019 年 5 月.

Koga K, Kimura H, Nishio M, Ogata K, Sakanashi S : The expertise required for public health nurses at Community General Support Centers. WONCA Asia Pacific Regional Conference 2019. 京都，2019 年 5 月.

Ogata K, Kishita S, Sakanashi S, Nishio Midori, Koga K: Usefulness of self-care support program after coronary artery bypass grafting based on a collaborative partnership: Intervention for an elderly man. WONCA Asia Pacific Regional Conference 2019. 京都，2019 年 5 月.

【社会活動】
日本看護協会福岡県支部職能委員会　委員　2018 年～現在に至る

【外部資金】
文部科学省科学研究費　代表
2017 年～2021 年度　文部科学省科学研究費 基盤研究(C)　4,500 千円
財団等補助金　代表

2019 年　受託研究費　　642 千円
日本語版　在宅認知症療養における生命維持治療に関する医師指示書（POLST）の開発　上廣倫理財団

2018 – 2021 年度　文部科学省科学研究費基盤研究(C)　総額 4,420 千円

緊急に人工呼吸器を装着した患者へのコミュニケーション支援に関する国際比較
（研究代表者 緒方久美子）

2018 – 2021 年度　文部科学省科学研究費基盤研究(C)　総額 4,160 千円
認知症ワーキングケアラーのエンパワメントを高める教育支援プログラムの開発と検証
（研究代表者　坂梨左織）

2016 – 2020 年度　文部科学省科学研究費基盤研究(C)　総額 4,810 千円
地域虚弱高齢者の認知機能にポジティブ情動をもたらす運動・ケアプログラムの開発
（研究代表者　木村裕美）

講師　西山　陽子

【学会発表】
西村伸子，川崎幹子，西山陽子：認知症高齢者の食事性低血圧の有無の確認と転倒予防．第 39 回日本看護科学学会学術集会，石川，2019.

助教　山本　孝治

【著書】
患者向け小冊子「知ろう・伝えよう IBD－今日から使えるコミュニケーションガイド」－一般生活者向け web メディア QLife,IBD 情報総合サイト「IBD プラス」,看護師の立場からのメッセージ．2019.

【論文】
山本孝治，中村光江：青年期以前に発症した中年期クローン病患者の生活の再構築．日本看護研究学会雑誌，42(1)：17-29，2019.

山本孝治，中村光江：女性クローン病患者の療養生活の経験―妊娠、出産、育児に焦点をあててー．日本難病看護学会誌，23(3)：265-274，2019.

大重育美，菅原直子，黒田裕美，田邉綾子，有安直貴，清末定美，福島綾子，苑田裕樹，山本孝治，姫野稔子，高橋清美，田村やよひ：医療施設の災害看護研修に関するニーズ調査．日本赤十字看護学会誌，19(1)：31-36，2019.

【学会発表】
山本孝治，阪上佳誉子，袴田麻美，藤原さおり，山田恵子：老年期クローン病患者に対する看護実践の検討～老年期の特徴を踏まえた支援～．第 10 回日本炎症性腸疾患学会学術集会（示説発表），福岡，2019.

山本孝治：老年期クローン病患者に対するケアの課題の明確化．第 24 回日本難病看護学会学術集会（口演発表），山形，2019.

山本孝治：老年期クローン病患者の療養生活の実際およびニーズの明確化（第 2 報）～加齢による影響、心理的変化、ニーズに焦点をあてた分析～．第 45 回日本看護研究学会学術集会（口演発表），大阪，2019.

山本孝治，大重育美，清末定美，福島綾子，苑田裕樹，有安直貴，姫野稔子，髙橋清美，田村やよひ：災害看護研修の効果と課題．第 20 回日本赤十字看護学会学術集会（示説発表），東京，2019.

【シンポジウム・交流セッション】
大重育美，山本孝治，福島綾子，姫野稔子，田村やよひ，有安直貴，苑田裕樹，清末定美，髙橋清美，黒田裕美：九州における大学発信型の災害看護対応システム構築に向けた取り組み．第 20 回日本赤十字看護学会学術集会（交流セッション），東京，2019.

【競争的外部資金】
2019 年度～2024 年度　ファイザー製薬医学教育プロジェクト助成（研究分担）
炎症性腸疾患患者に対する適切な医療の提供に向けた教育プログラム

「インストラクショナルデザインを用いた IBD 外来看護専門家育成プログラムの開発」
研究代表者：瀬戸奈津子.　研究分担者 5 名
助成金額：7,440（千円）

2017 年度～2019 年度　科学研究費（若手研究 B）
老年期クローン病患者の療養生活の実際および看護実践開発に向けた基礎的研究
研究代表者：山本孝治
助成金額：3,120(千円)

【セミナーの企画・講師、講演】
日本炎症性腸疾患学会主催：IBD メディカルスタッフ教育セミナー「IBD 高齢者の指針」司会，福岡，2019 年 11 月.

日本炎症性腸疾患学会，杏林製薬共催：IBD メディカルスタッフ教育セミナー Q and A セッション司会，福岡，2019 年 6 月.

武田薬品主催：IBD ナース Workshop パネルディスカッションパネラー、グループワークのファシリテーター，東京，2019 年 3 月.

介護職員を対象としたスキルアップ研修講師　2016 年～
介護福祉士実務者研修「医療的ケア」講師　2014 年～

[学内]
災害看護研修シリーズ Part Ⅱ ―いざという時に動けるワタシになるために―「災害における慢性疾患（糖尿病・透析）の方々への支援」研修講師 2019 年 10 月 26 日.

＜ヘルスプロモーション・在宅看護＞

准教授　緒方　綾子

【依頼原稿、報告書等】
鳩野洋子，岡順子，緒方文子，松尾和枝，嶋津多恵子，後藤智江，住徳松子：倫理委員会報告　第 7 回日本公衆衛生看護学会学術集会ワークショップ報告　健診データは誰のもの？―倫理的な観点から―．日本公衆衛生看護学会誌，8(1)：73-76，2019.

影山隆之，緒方文子，篠原彩，村嶋幸代：PHOTO／Pick UP 看護学生による高齢者への予防的家庭訪問実習．保健師ジャーナル，75(3)：183-185，238-244，2019.

【学会発表等】
篠原彩，緒方文子，影山隆之，村嶋幸代：看護学生による予防的家庭訪問実習（第 7 報）：学生の学び、他実習との相互作用．第 78 回日本公衆衛生学会総会，高知市，2019 年 10 月.

鳩野洋子，岡順子，緒方文子，後藤智江，嶋津多恵子，住徳松子，松尾和枝：健診データは誰のもの？－倫理的な観点から－（倫理委員会企画）．第 7 回日本公衆衛生看護学会学術集会，宇部市，2019 年 1 月.
【競争的資金等の研究課題】
5 日間連続夜勤を開始する新規採用職員の疲労・ストレス・眠気に関する縦断研究
日本学術振興会: 科学研究費補助金 基盤研究(C)
研究期間: 2019 年 4 月～2022 年 3 月
研究代表者: 緒方文子

【社会活動】
福岡県宗像・遠賀保健所運営協議会保健事業部会委員（2019 年 4 月～現在）
宗像市国民健康保険運営協議会委員（2019 年 4 月～現在）
日本公衆衛生看護学会 倫理委員会委員（2018 年 6 月～2020 年 6 月）

【シンポジウム】
福岡県看護協会主催　第 19 回福岡県看護学会：「睡眠への支援」～その人にとって、健やかな心身を維持するために～．コーディネーター，2019 年 12 月．

准教授　西村　和美

伊藤磨理，岩原由香，梅津千香子，谷口美穂，仁科恵美子，西村和美編：在宅看護・訪問看護の基本(ナーシング・グラフィカ DVD シリーズ 在宅看護技術 1)，大阪，メディカ出版，2019．

【社会活動】
メディカコンクール　看護師国家試験模擬テスト　在宅看護領域（2016 年～2021 年）
福岡市介護認定審査員（2017 年～2021 年）
宗像市スポーツ推進審議会委員（2019 年～2021 年）
アジア太平洋こども会議　医療ボランティア（2017 年～2019 年）
宗像医師会病院　看護研究指導（2018 年 4 月～2019 年 2 月）
宗像医師会病院看護部倫理委員会院外職者（2018 年～2019 年）
宗像市ルックルック講座　講師　2019 年 2 月 20 日
日本赤十字九州国際看護大学前期公開講座　講師　2019 年 7 月 13 日
宗像市ルックルック講座　講師　2019 年 11 月 2 日
宗像市ルックルック講座　講師　2020 年 1 月 10 日
排泄ケアみやこんじょ勉強会　講師　2019 年 8 月 3 日
ＮＰＯ法人日本コンチネンス協会　中級セミナー　運営スタッフ　2019 年 9 月 28-29 日
大牟田市市民向けフォーラム　運営スタッフ　2019 年 12 月 1 日

【国際活動】
2019 年 2 月 19 日　JICA 研修　講師「Health Policy」
2019 年 9 月　3 日　国立台中科技大学学術交流受け入れ事業　講師「Health Policy in Communities」
2019 年 2 月 24 日～3 月 2 日　英国介護者支援研修

助教　上野　満里

【講師】
九州労災病院　門司メディカルセンター「地域包括ケアシステムにおける病院看護師の役割」2019 年 8 月

【国際活動】
2019 年 JICA　地域保健向上のための保健人材強化　アテンド

＜メンタルヘルス＞

教授　髙橋　清美

【社会活動】
平成 29 年～令和元年　富山県看護協会認定看護師教育課程　摂食･嚥下障害看護「摂食･嚥下障害援助論」講師，富山県看護協会，富山．

令和元年　文部科学省平成 26 年度採択「大学教育再生加速プログラム（AP)」　AP シンポジウム卒業後の質保証に向けたディプロマ・サプリメントの開発へ、事業成果報告―ディプロマ・サプリメントについてー講演者，主催福岡医療短期大学．

令和元年 10 月　子どもの貧困を科学する　心と身体から見る子どもの貧困．講師，福岡市中央市民センター，主催福岡未来創造プラットフォーム．

【学会発表】
高橋清美，有安直貴，川田陽子，花木かおる，石飛マリコ：精神科看護師を対象にした窒息への対応と予防のための教育プログラム開発と形成的評価．日本看護科学学会学術集会第 39 回，金沢，2019．

准教授　石飛　マリコ

【社会活動】
2018～2019 年度　福岡県専任教員養成講習会　看護教育演習(専門領域別看護論　精神看護学)　講師
PAS セルフケアセラピィ看護学会　広報委員会　委員　2018 年 12 月 1 日～2020 年 8 月 31 日
PAS セルフケアセラピィ看護学会　事務局員　2019 年 6 月 18 日～2020 年 8 月 31 日
PAS セルフケアセラピィ看護学会　理事　2019 年 9 月 1 日～2021 年 8 月 31 日
第 30 回日本精神保健看護学会学術集会　執行委員　2018 年 12 月 3 日～2020 年 6 月 14 日
日本精神保健看護学会　災害対策委員会委員　2019 年 9 月 8 日～2021 年定時代議員会終結時

【学会発表】
髙橋清美，有安直貴，川田陽子，花木かおる，石飛マリコ：精神科看護師を対象とした窒息への対処と予防のための教育プログラム開発と形成的評価．日本看護科学学会学術集会第 39 回，金沢，2019 年．

助教　髙瀬　理恵子

2019 年 4 月～　九州・精神科食べる機能改善研究会　幹事

＜クリティカルケア・災害看護＞

講師　苑田　裕樹

【著書】
苑田裕樹：第 8 章 事例で考える救急看護・ICU 看護―主要症候と主要病態　6 意識障害―低血糖．佐藤まゆみ，林直子編：成人看護学急性期看護 II 救急看護・クリティカルケア 改訂第 3 版. 233-247，東京，南江堂，2019.

【論文】
大重育美，菅原直子，黒田裕美，有安直貴，清末定美，福島綾子，苑田裕樹，山本孝治，姫野捻子，高橋清美，田村やよひ：災害看護研修に対する医療施設のニーズ調査．日本赤十字学会誌, 19（1）：31-36, 2019.

【学会発表等】
山本孝治，大重育美，清末定美，福島綾子，苑田裕樹，有安直貴，姫野稔子，髙橋清美，田村やよひ：災害看護研修の効果と課題．第 20 回日本赤十字看護学会学術集会（示説発表），東京, 2019 年 6 月．

【シンポジウム他】
苑田裕樹：外傷看護教育の展望―未来をみたコース改定に向けてー，外傷看護の最新のストラテジー．第 21 回日本救急看護学会学術集会：交流集会 5，外傷看護委員会，千葉，2019 年 10 月．

苑田裕樹：多職種への活用における展望と課題，命の危険回避への取り組みー多様な立場からの急変前兆候対応への提案―．第 21 回日本救急看護学会学術集会：シンポジウム 8，千葉，2019 年 10 月．

苑田裕樹：大学における教育の取り組み，現場教育の実践と課題．第 15 回日本クリティカルケア看護学会学術集会：シンポジウム 7，大分，2019 年 6 月．

苑田裕樹：看護大学における IT の活用―BLS ブレンド型研修の設計―，教育 I D と I T-1．第 11 回日本医療教授システム学会総会・学術集会：交流集会 1，北海道，2019 年 3 月．

【研究助成】
2019 年度～2021 年度　科学研究費（基盤研究 B）
「教育で防ぎ得た重大事故を防ぐ能動的 LMS を軸とする安全教育システムの実現」
研究代表者：喜多 敏博
助成金額：17,160 千円（直接経費；13,200 千円，間接経費；3,960 千円）

【社会活動】

2019 年 6 月　　第 15 回日本クリティカルケア看護学会学術集会　企画委員/実行委員
2018 年～　　福岡赤十字病院　看護師特定行為研修実習外部評価員

助教　小川　紀子

【著書】

小川紀子：災害看護活動における倫理と心構え．小原真理子，酒井明子監修．災害看護　心得ておきたい基本的な知識 改訂 3 版． 76-79，東京，南山堂，2019.

小川紀子：看護職者の避難所における支援活動に関する経験．日本赤十字看護大学大学院博士学位論文．2019.

小川紀子：福島原発事故後県外避難を経験した乳幼児を育てている母親の思い－避難前・避難中・福島県に戻ってから－．日本赤十字看護学会誌，19(1)：11-20, 2019.

【社会活動】

宗賀・遠賀ブロック地域保健師研究協議会「災害時の基礎知識と救急処置について」講師 2019 年 12 月.
吉武地区コミュニティ運営協議会「災害発生時の避難に対する心構え」講師 2019 年 11 月.

【国際活動】

第 2 回ランチョンミーティング　「30nd ICM Triennial Congress 2014 In Prague での体験」2019 年 5 月.

助教　福島　綾子

【著書】

福島綾子：全人的苦痛の緩和．立野淳子プランナー：救急現場ではどうする！？患者家族の支えかたー終末期編．Emer-Log（エマログ），32(４)，大阪，メディカ出版，2019.

【論文】

大重育美，菅原直子，黒田裕美，有安直貴，清末定美，福島綾子，苑田裕樹，山本孝治，姫野捻子，高橋清美，田村やよひ：災害看護研修に対する医療施設のニーズ調査．日本赤十字学会誌，19(1)：31-36，2019.

【学会発表】

日本クリティカルケア看護学会終末期ケア委員会，日本救急看護学会終末期ケア委員会（福島綾子，立野淳子，山勢善江，山勢博彰ほか）．救急・集中ケアにける終末期看護プラクティスガイドの公表．第 15 回日本クリティカルケア看護学会学術集会　交流集会，大分，2019.

【社会活動】

第 21 回日本クリティカルケア看護学会学術集会 企画委員/実行委員，2019 年 6 月.

＜国際看護＞

助教　宇都宮　真由子

【国際活動】

2019 年度 JICA「保健人材強化」研修アテンド